

# アスパラガス病害虫防除暦及び防除日誌（共通）

※出荷前提出用

※R8融雪後～収穫前

R8 JA庄内たがわ  
2025年12月16日時点の登録内容にて作成

確認

支所		生産者コード		氏名	
収穫開始日	月 日	収穫終了予定日	月 日		

除草剤		※【センコル水和剤・トレファノサイド乳剤を使用する際の注意点】土壤の乾燥が続く場合には、土壤散布は効果が低下しますので、雑草発生後に茎葉散布して下さい						散布日
防除時期	対象病害虫(雑草)	登録農薬名	使用量(10a)	使用時期	使用回数	RACコード (※2)	使用方法	散布日
萌芽前	一年生雑草	センコル水和剤	100~150g	萌芽前～萌芽始期	1回	H:5	全面土壤散布 散布量100ℓ/10a	月 日
萌芽前	一年生雑草	ロックス	150~200g	萌芽前(雑草発生前～発生始期)	1回	H:5	全面土壤散布 散布液量70~150ℓ/10a	月 日
収穫期	一年生雑草	バスタ液剤	300~500ml	収穫前日まで (雑草生育期萌芽前又は畦間処理)	合わせて 2回以内	H:10	雑草茎葉散布 散布液量100~150ℓ/10a	月 日
収穫期	一年生雑草	ザクサ液剤	300~500ml	収穫前日まで (雑草生育期畦間処理)		H:10	雑草茎葉散布 散布液量100~150ℓ/10a	月 日
収穫期	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ナブ乳剤	150~200ml	収穫前日まで (イネ科雑草3~5葉期)	1回	H:1	雑草茎葉散布 散布液量100~150ℓ/10a (イネ科のみ効果)	月 日

※【センコル水和剤・トレファノサイド乳剤を使用する際の注意点】土壤の乾燥が続く場合には、土壤散布は効果が低下しますので、雑草発生後に茎葉散布して下さい

※ハウス栽培では、土壤処理剤(ロックス)は使用しない

【その他使用薬剤】 ※上記防除暦と異なった計画防除で実施した場合などに下記の記入欄を活用下さい

登録薬剤名	散布日	登録薬剤名	散布日	登録薬剤名	散布日	登録薬剤名	散布日
	月 日		月 日		月 日		月 日
	月 日		月 日		月 日		月 日
	月 日		月 日		月 日		月 日
	月 日		月 日		月 日		月 日

【留意事項】 使用時期の「収穫の前日まで」とは、薬剤散布を終了した時刻より24時間を経過するまで、収穫出来ないことを示します。

※例) 6/15朝9時防除作業終了 → 次回収穫開始可能日時は、6/16朝9時以降より

- 病害虫の発生状況等を見て散布してください。
- 適正な栽植密度とし通風・作業性をよくしてください。
- 園地の適切な排水管理に努めましょう。
- 病害虫の温床となるものについては随時、適切に撤去してください。
- ドリフト軽減ノズルや防葉ネットを使用しましょう。